

「仙台市いきいき市民健康プラン（第3期）」骨子案についてのご意見に対する対応

参考資料1

委員	意見	対応内容
1. ビジョン・基本目標・推進の方針・推進のシンボル・プラン全体のイメージ		
赤坂委員	<p>基本的に結構だと思えます。少し気になった点として、推進のシンボルで、緑文字のグループのところに”DX”が記載されていますが、その他の項目とDXは少し異質ではないかと思えました。DXはデータやデジタル技術を活用し、「製品やサービス、ビジネスモデル、業務、組織などの変革を行うこと」とあり、もちろん健康都市推進にとって非常に重要な有効な要素と考えます。しかし、個人的なイメージとしては、個々の活動・情報をつなぐ有機的、かつ有機的にサービス・施策を推し進めることや、新たな価値（施策やサービスを含む）を創造するためのツールであって、取り組みそのものではないと思います。どちらからかという点、DXは、全体の取り組みを有機的につなぎ、新しい価値を創造することで「健康の都せんだい」の実現に向けた取り組みを支えるというイメージではないかと思えます（感想なので無視していただいて結構です）。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、また、シンボルの中に記載する内容を精査いたしました。</p>
大森委員	<p>①ビジョン『未来へつなげる健康の都せんだい～ここからでもいきいき～』の基本目標が『みんなで伸ばそう健康寿命』では、母子・親子、学齢期、若者、家庭、近隣コミュニティという視点や、心の部分が抜けている印象を受け、ビジョンと基本目標が乖離しているように感じます。健康の都というところの「健康」とはどのようなことなのか、市民に伝わりやすく感じました。⇒仙台市民の健やかな生活を定義すれば、ビジョンを市民と共有し、健康の都せんだいのいきいき市民健康プラン2033（←あっていますか？ゴールの西暦も入れませんか？）に沿って行動に移すことができると思っています。</p> <p>②推進の方針の2つ目が特に気になります。『市民や多様な担い手が連携し、主体的に健康づくりに参加』とありますが、この表現が役所の上から目線が出ているようで、市民に「行政からの押しつけ」「行政用語の貼り付け」と受け取られなにか心配です。⇒「誰もが健康づくりに参加したくなる」「市民主導の健康づくり」「参加型ガバナンスによる健康づくり」等々の表現の方がよいと思います。この協議会にも健康の都せんだいの市民（住民リーダー）が入り、発言してもらえらると、もっと良い内容になると思います。</p> <p>③『いきいき市民健康プラン』の真ん中の大きな花びらには、健康に関連する様々な領域が記載されています。スケールが大きいので、絵にかかいて終わりにしてしまいがちで心配です。実際に市民の健やかな生活は多面的なものなので、役所の中で多領域が協働連携して『いきいき市民健康プラン』を実効性のある計画にしたいです。⇒市民の健やかな生活は市という自治体の共有財産ですから、欄外に記載のある「庁内連絡会議」には、すべての部局の代表が参加しても良いくらいです。仙台市役所には健康の都せんだいならではの連携体制があることが組織文化になったらよいですね。</p> <p>④プランの図に、このころの部分（心理社会的側面の健康）と親子・家庭・近隣コミュニティの部分が見えませんが、『みんなで伸ばそう健康寿命』に囚われ過ぎていないのか、こだわり過ぎていないのか、今一度誰のためのプランか検討が必要と感じました。⇒推進の方針に『誰も取り残さない健康づくりの展開』や『社会の変化を踏まえて健康づくりの推進』とありますが、個人の生活習慣病を想起させるこの図からは方針との整合が確認できませんでした。10～20年前の図のように感じました。</p>	<p>①「健康」のことばに含むもの、ビジョン、基本目標については、プランの中で説明を付すことにしています。その際は、市民に伝わりやすい表現になるように検討いたします。</p> <p>②ゴールの西暦については、中間評価が令和12年度、最終評価が令和16年度、プラン期間は令和17年度を予定しております。名称については、現状のままといたしました。</p> <p>③推進のシンボルがより効果的に機能し、実効性のあるプランとなるよう、推進の手法について庁内外連絡会議の在り方も含め検討してまいります。</p> <p>④イメージ図は、健康づくりの視点や柱、分野を表しました。このころ、親子、家庭、近隣コミュニティについては、施策の柱の「このころの健康・社会とのつながり」をはじめ、施策の柱の中で触れました。また、「推進のシンボルと担い手の役割」の中でも、市民や家庭の役割、地域団体の役割について触れています</p> <p>また、イメージ図は、「個人の行動と健康状態の改善」と「社会官許の質の向上」の2つの視点を取り入れていきます。</p> <p>推進の方針は、この2つの視点を含み、プラン全体の方針を示したものです。</p>
片倉委員	<p>プラン全体のイメージの一番下にライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの→を右向きに縦に示したらいかがでしょうか。（参考として添付資料をお送りいたします。）</p>	<p>プラン全体のイメージ図を見直しました。ライフコースアプローチについては、検討の上、下部に横に配置することになりました。</p>
加藤委員	<p>推進のシンボルについて、情報がよく整理され、内容の構造が見た目にわかりやすく反映されている。</p>	<p>さらにみなさまのご意見を踏まえ、更新をしてまいります。</p>
小菅委員	<p>いままでは「それぞれのライフステージ」「ライフステージごとの」という文言も使っていたが、今期からは「ライフコースアプローチ」という用語を使っている。取り組みに大きく関与している変更なのだがいについて注釈があってもいいのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、説明を入れられました。</p>

委員	意見	対応内容
<p>2.コンセプト・分野毎の目指す姿（アウトカム）</p> <p>大森委員 加藤委員</p>	<p>国が示す指標に合わせることも大切ですが、仙台市の地域特性に基づき、独自の指標があってもよいと思います。⇒仙台市民の健やかな生活の定義、ビジョン、推進の方針、プランとの整合が取れるように設定すると、市民にも伝わり、受け入れられるプランとなり、健康の都せんたいの実現に向かって行政組織も市民もモチベーションが高まると思います。</p> <p>コンセプトについて第2期に比べ健康寿命の延伸に向けた段階が明確に示されており、構成する分野と目指す姿も具体的にわかりやすい。</p> <p>個人の取り組み、すなわち健康啓発事業の功罪から、社会環境の整備の必要性に視点を向けていることは非常に評価できる。生活習慣の改善等による健康づくりにおいて、フレイルの入り口としてのオーラルフレイル予防についての取り組みを書き込めないか、とくにライイフコエスとしての取り組み、すなわちオーラルフレイル予防口腔機能の育成と保持は幼児期・学齢期からの取り組みが必要であることを書き込んでほしい。5. 健やかなからだところを支援する歯と口の健康の段で、社会環境整備（緑字）の項目を追加したい。また、社会環境の改善・整備の環境づくりの段で、取組めていない人の背中を後押しする仕組みがある。とあるが、それを一歩進めて「健康に向かう取り組みを意識しなくとも取組んでいるような社会的仕組みをつくる」などの書きぶりは可能か。</p>	<p>推進のシンボルなど仙台市らしさを入れつつ、また、目標には仙台市オリジナルの目標（指標）も設定したところであり、達成に向けて取り組んでまいります。あわせて、仙台市の特性を踏まえつつ市民・産官学協働で健康づくり運動の展開・気運の醸成に向けて事業検討しております。</p> <p>さらにみなさまのご意見を踏まえ、更新してまいります。</p>
<p>小菅委員</p>	<p>個人の取り組み、すなわち健康啓発事業の功罪から、社会環境の整備の必要性に視点を向けていることは非常に評価できる。生活習慣の改善等による健康づくりにおいて、フレイルの入り口としてのオーラルフレイル予防についての取り組みを書き込めないか、とくにライイフコエスとしての取り組み、すなわちオーラルフレイル予防口腔機能の育成と保持は幼児期・学齢期からの取り組みが必要であることを書き込んでほしい。5. 健やかなからだところを支援する歯と口の健康の段で、社会環境整備（緑字）の項目を追加したい。また、社会環境の改善・整備の環境づくりの段で、取組めていない人の背中を後押しする仕組みがある。とあるが、それを一歩進めて「健康に向かう取り組みを意識しなくとも取組んでいるような社会的仕組みをつくる」などの書きぶりは可能か。</p>	<p>口腔機能の育成と維持向上については、中間案の歯と口の健康づくりの取り組みの「食を通じた健康づくりを支える体制整備」（P28）において、乳幼児期・学齢期から壮年期・高齢期までの連続した取り組みとフレイル予防について記載しております。併せて、「目指す環境」として環境整備の具体策も盛り込んでいます。</p> <p>また「社会環境整備の改善・整備」には「健康に関する薄い人などを含む幅広い人々を意識した、自然に健康になれる環境づくりを推進します」としています。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、具体の施策・事業に取り組みさせていただきます。</p>
<p>3.その他ご意見</p>	<p>略称については、説明を加えました。</p>	
<p>赤坂委員</p>	<p>COPDやCDKなどの略称が用いられていますが、この骨子を公表する対象者によっては、どこかに略称の説明が必要なのではないかと思いました。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、セタのイメージイラストを入れました。飾りの意味の掲載は、最終案に向けて調整いたします。</p>
<p>大森委員</p>	<p>伊達政宗の時代から受け継がれる仙台七夕飾りひとつひとつの意味を調べることで、プランやプランの作図のヒントになるかもしれません。これから10年間掲げるものなので、未来志向でご検討よろしく願っています。</p>	<p>目標値等の指標は中間案でお示しました。</p>
<p>片倉委員</p>	<p>とてもきれいにまとまっておりますが、大切な事は、目指すべき目標値をかかげるべきだと思います。これでは、どのような結果が得られてもわかりません。これを読んだ市民は積極的に行動を起こしてくれるでしょうか。よろしく御検討願います。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、最終案に向けて検討いたします。</p>
<p>小池委員</p>	<p>仙台市レクリエーション協会は、「仙台市スポーツ振興計画2022-2031」においては地域スポーツ活動の機会層創出として「ニュースポーツ大会」や「市民レクリエーションまつり」などを主催しています。</p> <p>いきいき市民健康プランの骨子案において、容易にな身体活動や運動につながるものとして「レクリエーション」の文言がどこかにあると当会員の健康プランへの参加への動機付けなると考えます。</p> <p>例えば、①シンボルの図：「文化・スポーツ」→「文化的に自分の状態に合った運動・スポーツ・レクリエーションをしよう」 このプランにおける「当協会」の役割や位置づけとしての考えです。（特に強い意見ではありません協議会へ参加するたびに当協会が貢献できる領域を模索しております・・・）</p>	
<p>小菅委員</p>	<p>在宅療養者や医療的ケア児に対する対応についての記載がないように思われるがいかかか、「だれも取り残さない・・・」に集約するというのなら少しまとめるべきではないか。</p> <p>文言として書き込みにくい部分ではあるが、健康についてもそのも取り組もうとする発想すらない市民への対応も「だれも取り残さない・・・」のひとつの側面であることにも注視してほしい。</p>	<p>在宅療養者や医療的ケア児については、他計画と連携し、必要な施策を進めてまいります。（施策の柱「歯と口の健康」を推進するための個別計画「歯と口の健康づくり計画（第3期）」において、特別な配慮を必要とする人を地域連携で支える環境整備を図ることの必要性と推進方策について、記載しております。）</p> <p>健康に関心が薄い層に対しても、ご意見のとおり「誰も取り残さない」の方針のもと取り組んでまいります。</p>
<p>小関委員</p>	<p>重症化予防の区分にも歯科保健が位置付けられており、他の全身疾患と同様に歯科疾患予防が表記されたのが、とても意義があることだと感じています</p>	<p>ご意見を踏まえ、具体策を盛り込んでまいります。</p>
<p>平田委員</p>	<p>裏面の「社会環境の改善・整備」の枠組みに歯科保健に関連する項目かあっても良いと感じた</p>	<p>歯科保健に関しては、「歯と口の健康づくりネットワーク会議」による連携・協働を掲げ、その中でも取り組むこととしていきます。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>フツ化物洗口の実施の記載に「学校」が明記されたのは意義がある</p> <p>保育所・幼稚園等とフツ化物洗口を実施しているのにも関わらず、学校で途切れてしまうのが課題だったが、今回明記されて良かった</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、中間案にも掲載しております。</p>